

環境について考えよう！

12月26日、夏井市民センターに、盛岡市の環境学習交流センターの職員が訪れ、放課後子ども教室に参加している子どもや地域の人を対象に、環境についての話や体験学習を行いました。

地球温暖化や資源のリサイクルについて、プロジェクトや紙芝居で説明。地球温暖化が進むと地球上の砂浜がなくなるかもしれないこと、海のごみの90%はプラスチックで、その量は1年間に800万トン、ジャンボジェット機5万機分であること、捨てられたプラスチックごみが自然に分解されるには、何百年もかかるということなどをクイズ形式で学びました。



学習の後は、紙パックをリサイクルした紙すき体験ではがきを製作。紙パックの表面を剥がすと現れるパルプを、のりを入れた水に浸してほぐし、網を張った木枠にすくい入れ、木で押し固めて水を絞り、アイロンで押さえ、乾かすと出来上がりです。参加者は職員から丁寧に教えてもらい、楽しそうに作っていました。

参加した児童は「環境について詳しく学ぶことができた。紙すきも楽しかったです」と話しました。参加者は改めて、省エネやごみの分別に取り組むことなど、環境にやさしい生活をしていく大切さを学びました。



震災を振り返る ～久慈ユネスコ協会研修会～



11月17日、久慈ユネスコ協会員らが陸前高田市の高田松原津波復興記念公園で研修を行いました。震災遺構の陸前高田ユースホテルや奇跡の一本松を見学。東日本大震災津波伝承館では、ガイドから説明を受け、津波の事実や教訓を学びました。

3月で東日本大震災から10年が経ちますが、津波の恐ろしさと、一人一人が自ら考え行動することの重要性を改めて思い知らされました。震災の教訓を風化させず、震災を知らない世代にこの事実を伝承していけるよう、それぞれができることから行動していきましょう。

「ユネスコ世界寺子屋運動」

書き損じはがきなどの寄付協力

久慈ユネスコ協会では、世界の読み書きができない子どもたちや大人が、寺子屋で読み書きや算数を学ぶように「ユネスコ世界寺子屋運動」に協力をしています。書き損じハガキを集めて募金にかえるため、ご協力をお願いします。

- ▶ 寄付対象… 投函していないはがき(印刷・記入済可)、未使用の切手・テレホンカード・プリペイドカード、使用できる商品券
- ▶ 持ち込み期限… 2月19日(金) ▶ 持ち込み先… 生涯学習課

放送大学入学生募集

- ▶ 出願期限… 2月28日(日)(第1回)
3月16日(火)(第2回)

大学説明会

- ▶ 日時… 2月13日(土)、14日(日)、3月7日(日) 各日10時～11時30分
- ▶ 会場… 放送大学岩手学習センター(盛岡) 岡放送大学岩手学習センター ☎019-653-7414

生涯学習だより



まなびのまち

琥珀のまち生涯学習都市

No. 45

2021年
(令和3年)
2月1日

発行/久慈市教育委員会(担当:生涯学習課 ☎028-8030 岩手県久慈市川崎町1番1号 ☎0194-52-2156)



来内小学校 学童期子育て講座

心にひびく絵本との出会い

～親子で一緒に楽しもう～

11月27日、来内小学校の親子を対象に、絵本の読み聞かせ講座が行われました。講師は、9年ほど前に同校で校長として勤務していた牧野幹先生。現在は「絵本専門士」としても活躍されています。

牧野先生は、車で学校に向かう途中に見える来内小学校の赤い屋根を、当時から「谷間の宝石箱だなあ」と思っていたこと、先生が保護者に声掛けし始まった「絵本の読み聞かせグループ」の活動が、今も継続してうれしいことなどを話しました。

「絵本には美しい言葉、励ます言葉、考えさせる言葉など、本を作る人の願いや思いが込められています。絵本を読んでもらった時間は、子どもに幸せの記憶を作ります。1冊の絵本を読むことは10分かからない。忙しい日常の中で時間を作ってぜひ本

を読んでほしい」と牧野先生は保護者に語りました。

いよいよ読み聞かせが始まると、まずはワクワクする仕掛け絵本で子どもたちの心をつかみました。絵本を読みながら、児童に話しかけたり質問したりするので、子どもたちはどんどん絵本の世界に引き込まれていきます。牧野先生は持参したたくさんの絵本を次々に読み、大人にこそ読んでほしい絵本を締めくくり読みあげました。

児童からは「これからも本にもっと親しんでいきたいです」という感想があり、保護者は「牧野先生が読み聞かせの活動をしているとは知らなかったです。先生との出会いをきっかけに始まった読み聞かせを通し、皆さんとつながっていきたい」と感謝の言葉を述べました。

「学校支援地域本部事業」の活動紹介

～各学校に配置されているコーディネーターが、学校を支援する地域の人と学校をつなげる役割をしています～

夏井中 伝承される夏井大梵天神楽

夏井中学校1、2年生29人が、1月24日の久慈市郷土芸能祭に向けて夏井大梵天神楽の練習を行いました。練習は1月に3回、夏井中学校で開催。夏井大梵天神楽保存会のみなさんの指導のもと、舞いやお囃子のほか、唄も生徒が行いました。

保存会の播磨孝則さんは「動きは覚えているので、両手で大きく振り付けができれば良く見える」とアドバイス。唄を担当している生徒会長の粒栄耀空さんは「中学生の明るさや躍動感を、この神楽で表現したい」と意気込んでいました。

夏井大梵天神楽は平成11年に岩手県指定無形民俗文化財に指定。夏井中学校では平成30年から中学校全体で神楽に取り組み、県の中学校総合文化祭や市の郷土芸能祭、夏井市民センターの文化祭などで発表しています。



躍動感あふれる舞い



軽快なお囃子

侍浜小冬休み工作教室

12月24日、侍浜小学校で冬休みの工作教室として、小久慈焼き体験が行われました。小久慈焼き窯元の下嶽智美さんを講師に迎え、児童15人、保護者11人、学校の先生3人の計29人がお皿やコップなどを制作しました。

小久慈焼きの粘土は、もぐらんぴあ近辺の地層でとれたものを使用していること、小久慈焼きが出来るまでの過程の説明を受けました。小久慈焼き作りが初めての児童も多く、下嶽さんからアドバイスを受けながら、さまざまな形や模様をつけた作品が出来上がりました。1年生の石崎聖翔さんは「お皿のふちを作るのが難しかったけれど楽しかった。おかずをのせて使いたいです」と笑顔で語りました。

侍浜小学校では、毎年長期休業中に工作教室や学習教室を開催し、児童のさまざまな体験や勉強をする機会を設けています。



児童にアドバイスする下嶽さん(右)



作品を披露する石崎さん

久慈小 図書ボランティア ★パネルシアター★



パネルシアターを楽しむ子どもたち

12月16日、特別支援学級のクリスマス会のために、図書ボランティアがパネルシアターで「アラジンと魔法のランプ」を上演しました。パネルシアターは紙人形をパネルに貼る人形劇。普段の読み聞かせと違い、複数で役割を分担するので、何回か読み合わせや動きの練習をして本番に臨みました。今回はボランティア3人のほか、教職員2人が出演しました。

いざパネルを設置すると子どもたちは興味津々。真剣に見入る子、隣と感想を言い合いながら見ている子など、みんなとても楽しんでくれました。ボランティアメンバーのアルトサックスによるクリスマスソングの生演奏も行われ、子どもたちには良いプレゼントになりました。

岬のマヨイガ～児童文学ふれあいトーク～

小説「岬のマヨイガ」は、被災した岩手県沿岸の架空の町を舞台にした物語で、岩手日報ジュニアウイークリーに連載され、2月13日にアンバーホールで演劇が上演されます。

それに先立ち12月5日に、久慈市立図書館で市民20人ほどが、原作者で児童文学作家の柏葉幸子さんとNPO法人いわてアートサポートセンターの坂田裕一理事長のトークを楽しみました。

柏葉さんは、岬のマヨイガの執筆について、県外の出版社から「被災地岩手県の作家」として、被災地のことを発信してはどうかと要望されたので、書くことを引き受けた。けれども、内陸の盛岡と沿岸とは、震災に対する思いが違うし、沿岸の子どもたちから嫌がられるのではないかと悩みながら書いていたと話しました。

坂田さんは、舞台「岬のマヨイガ」には、主役に原作を読んで感動し出演依頼を快諾した竹下景

子さん、一般オーディションで選ばれた久慈出身の岡野桃子さんが出演すること、脚本・演出は盛岡にゆかりのある詩森ろばさんが担当すること、独創的な迫力ある人形が劇中に使われ、生演奏で上演されることなど見どころを話しました。

参加者から「デビュー当時と現在で、作品との向き合いかたに違いはありますか」と質問があり、柏葉さんは「デビュー当時も現在も、自分が面白いと思う作品を書くことに変わりはないが、震災をきっかけに、あのようなことがあったことを忘れさせないような作品を書いていくことも必要と考えるようになりました」と話しました。

原作は児童文学ですが、震災、DV、孤児など、大人でもハッとするようなテーマを、不思議なおばあさんを中心とした登場人物が、民話の語りのように優しく包み込んでくれるような物語です。皆さんぜひご覧ください。

市制施行15周年記念 演劇公演「岬のマヨイガ」

▶日時…2月13日(土)14時開演(13時受付・13時30分開場)

▶会場…アンバーホール大ホール

▶チケット料金【全席指定・未就学児入場不可】…

S席(B列～P列)……:3,500円= 完売

A席(S席除く1階席):2,500円

2階席 :1,500円

※友の会500円割引、高校生以下500円割引(併用可)

※検温・マスク着用など感染症対策にご協力ください

感染状況によっては中止となる場合があります

来館前にHPの最新情報を確認ください

問アンバーホール ☎52-2700



親子でエアートランポリン教室

▶日時…2月20日(土)

①11時～11時50分(2歳から年長)

②13時20分～14時10分(年長から小6)

③14時30分～15時20分(小・中・高・一般)

▶会場…三船十段記念館 ▶定員…各回先着30人

▶持ち物…水分補給用の飲み物(上履き不要)

▶講師…エムズスポーツクラブ代表 松村俊輔さん

▶申込先…生涯学習課 ☎52-2156

▶当日連絡先…三船十段記念館 ☎53-2210

※検温・マスク着用など感染症対策にご協力ください

感染状況によっては中止となる場合があります



平成30年に開催した教室の様子

